

The background is a light beige textured surface. On the left side, there are several paper cutouts hanging from thin vertical lines. These include three light blue teardrop-shaped raindrops at the top, two white cloud shapes in the middle, and three light red teardrop-shaped raindrops at the bottom.

自分らしくいるために

小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

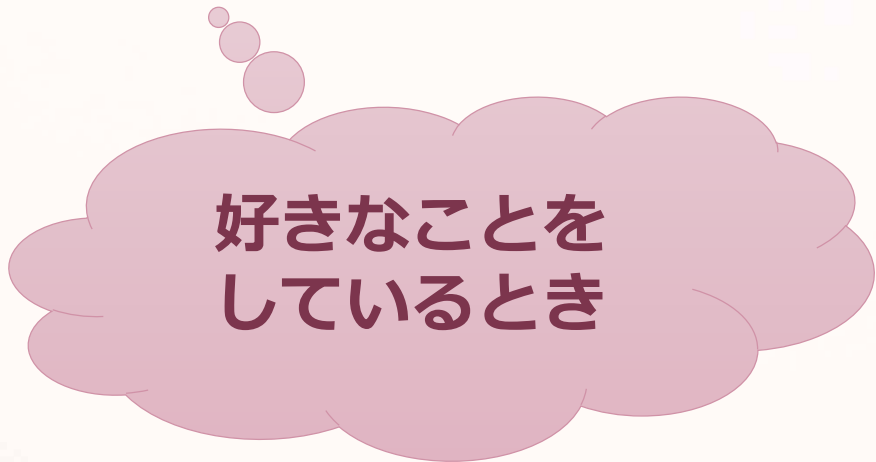
高橋 菜緒



家族といるとき...



みなさんはどんなときが
自分らしくいられると思いますか？



好きなことを
しているとき

✿事例紹介✿

N様 女性 78歳 要介護2 独居

○既往歴

関節リウマチ 脳出血 高血圧

○家族構成

夫（さつき苑入居） 長男夫婦（北海道内在住）

○利用経緯

- ・ 脳出血にて入院 後遺症として右片麻痺、言語障害、高次脳機能障害
- ・ 3ヶ月の入院リハビリ後、在宅復帰が可能かどうかの判断・リハビリの継続の為、なごみの家での継続泊まりから利用開始。





自宅で過ごしたい



頑張りたい！

1人の生活は心配



夫の面倒を見たい

可能性があるなら
自宅での生活に
戻って欲しい

リハビリは
続けて欲しい



家族

課題と対応策

- ①N様がどこまで物事を理解出来ているか
- ②日常生活動作がどこまでできるか
- ③失語の状況と、意思疎通の状態の把握

✳長期目標

自宅に戻り、生活が出来る。

✳短期目標

定期的に自宅で過ごす時間ができ、自宅に泊まることができる。

✳継続泊まりを利用しながら把握・対策を検討する



援助内容①～スケジュール～

段階	時期	内容
第1段階	～1ヶ月	・継続泊まり ・訪問リハビリ 週1回 ・日中自宅で過ごす・日中自宅で過ごす日を作る（息子様帰宅時のみ） ・自宅に1泊（息子様帰宅時のみ） ※生活動作機能、注意欠陥の見られる不安な動作や時間帯の確認と検討
第2段階	2ヶ月～	・継続泊まり ・訪問リハビリ週1回 ・ご主人への面会・・・特養への外出（週1回程度） ・日中自宅で過ごす日を作る（昼食後数時間） ・自宅に1泊（息子様帰宅時のみ） ※不安要素の確認と検討
第3段階	3ヶ月～	・継続泊まり ・訪問リハビリ週1回 ・ご主人への面会・・・特養で日中過ごす（週2～3回程度） ・日中自宅で過ごす（昼食後数時間） ・自宅に1泊（息子様帰宅時のみ） ※不安要素の確認と検討・・・一人で鍵を開け自宅に入り、手洗いうがいなど手順が分かっているか、トイレの電気、給湯や暖房のスイッチは入れられるか、片付けや掃除機は使えるかキッチン の電化製品等使用出来るか・・・など。在宅か施設か今後の方向性の決定 泊まりサービスを利用しながら週4日以上は自宅での宿泊が可能かどうかの判断をします。

✳️支援内容

食事・水分を摂る
(目標1500ml)

バイタルチェック

健康状態の安定と
生活動作の確認支援

家事の手順確認

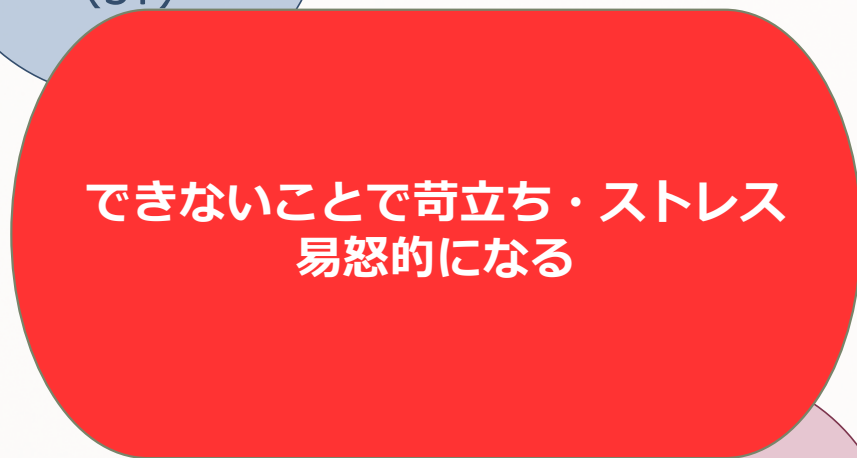
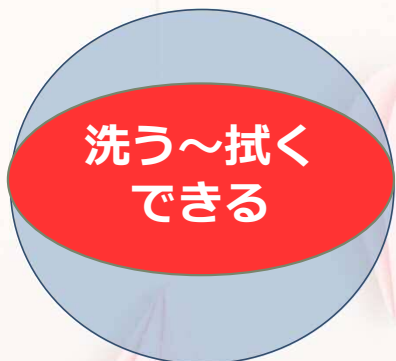
入浴時の全身確認

本人に確認
↓
出てないが
出たと話す

服薬の確認



体力向上の
支援



3ヶ月後の評価

* 日常生活動作

思うように身体が動かせないこともあるが、ほぼできている。

繰り返し行
自信を持

訓練を行い、

* 自宅で暮

調理...1人

洗濯...洗濯

昔からし

・声掛けで可。

るのでは？

* 意思疎通

・失語症によ

会話は難しい

を発してしまい

・言語聴覚士による訪問リハビリや学習療法は効果が期待されるが、本人の意欲が
上がらずに進められず。

コロナウイルスの影響で
ご主人の面会・息子様夫婦との外泊は
すべて中止に...

The background is a light beige surface with several paper-cut leaves. Three light blue leaves are in the upper left, and three light pink leaves are in the lower left. A white, fluffy cloud is positioned behind the text. The text is in a bold, purple, sans-serif font.

＊自宅で過ごす時間を少しずつ増やそう＊

援助内容②～スケジュール～

段階	時期	内容
第1段階	5ヶ月目～	・土曜日自宅に泊まる(朝送り) ・昼食は送迎にてなごみでなごみで食事を摂る(土・日) ・土曜日夕食は配食サービス利用(フレアサービス) ・訪問リハビリ週1回 ・特養さつき苑への外出・面会(週1回程度)→コロナウイルスの影響で中止 ・日中希望日は自宅で過ごす ※生活動作機能、注意欠陥、失行の見られる不安な動作や時間帯の確認と検討
第2段階	6ヶ月目～	・土日の2泊自宅に泊まる ・昼食は送迎にてなごみで食事を摂る(土・日・月) ・土日夕食は配食サービス(フレアサービス) ・日中希望日は自宅で過ごす ・訪問リハビリ週1回 ※不安要素の確認と検討
第3段階	7ヶ月目～	・金土日の3泊自宅に泊まる ・金土日昼食も配食サービス ・日中の訪問サービス(安否確認) ・週1回掃除の訪問にて一緒に掃除を行う ・訪問リハビリ週1回 ・特養さつき苑への外出・面会(日中御主人と過ごす) ※不安要素の確認と検討

基礎となる支援は
①と同様

第1段階

✳日中、自宅で過ごしてみる

「帰りたい」と希望があったときに自宅へ送る



洗濯をしたり...



畑仕事をしたり...

リハビリをしたり...



特に大きな問題はなく過ごされる

第1段階

✳自宅に1泊する

当日の朝自宅へ送り、昼食以外は自宅で過ごす。



いない！

夕食は配食サービスを利用も...

第1段階～経過～

* 日中は特に大きな問題は見られない。

* 自宅に泊まること自体は、何事もなくできる。

➡ 自分で出来るからいらない！と配食を断ってしまう。

**長年自分で家事をしていた
もともと調理の仕事をしていた**

都度、配食サービスの必要性を本人に
まずは自宅に泊まることに慣れることから...

次の段階へ

第2段階

✳日中、希望時は自宅で過ごす。

✳自宅に

家に帰りたい！

なんでも自分で出来る！

お父さんは私が見る！

昼食はなごみで



配食サービス

第2段階～経過～

＊思うように話せないこと・自宅に戻りたいという強い気持ちから時折感情が爆発してしまうことがある。

➡ 日中は帰宅。夜間等は傾聴することで落ち着かれる。

＊ご主人と過ごしたいという気持ち。

＊近隣住民とちょっとしたトラブル

**このまま泊まりを増やして
大丈夫なのか…。**

＊配食サービスは断ることが

第3段階

✳希望時は帰宅。

自宅への泊まりは2泊を継続し、様子見を行う。

✳週に1回、訪問にて一緒に調理を行う。

➡配食を断ることが多いため、一緒に作ったものを夕食・翌朝の朝食へ。

➡調理ができれば配食サービスを中止することも検討。

息子様に相談し、安全に使用出来るIHコンロを購入。

第3段階～経過～

＊調理＊

＊当日の朝冷蔵庫を確認。本人に買い物を依頼する。

＊米とぎ・炊飯は1人で上手に出来る！

＊切る・煮る・炒める...は声掛け

＊IHコンロは介助が必要なことが



できることは本人が。
できないことは一緒に。



第3段階～経過～

なごみでの生活・支援を継続していくなかで

自宅で過ごしたい！

気持ちと同じくらい

ご主人と一緒にいたい！



という気持ちが大きいことを再確認。

**お父さんと
一緒にいたい**

自宅で過ごしたい

しかし...

息子様夫婦と相談

本人の希望を叶えるには

**さつき苑
ロングショートへ移行**

移行後、帰宅が**週1回のみ**

帰りたいときに帰れないことがストレスになってしまった



ご主人の身の回りのことも自分がしたいと
いろいろしたい...危険も...

N様には小規模多機能ホームが
合っているのでは？

＊なごみの家の利用を再開＊

すると...

現在は落ち着いて過ごされている



現在の利用状況

	月	火	水	木	金	土	日
朝食	なごみの家 訪問	自宅	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家
午前 送り	自宅で自由に 過ごす	訪問リハビリ	自宅掃除の 訪問	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす
昼食	なごみの家	自宅	訪問	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家
午後 訪問	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす 迎え	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす	自宅で自由に 過ごす
夕食	自宅	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家
宿泊	自宅	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家	なごみの家

現在のN様

✳毎週月曜日に自宅に泊まる。

✳週に1回の訪問リハビリ。

✳週に1回の掃除の訪問。一緒に掃除を行う。

✳日中、希望時の帰宅は継続。

✳時々ご主人の話をされる。

毎食後薬内服のための
訪問



当初はN様の

自宅で過ごしたい

ご主人と

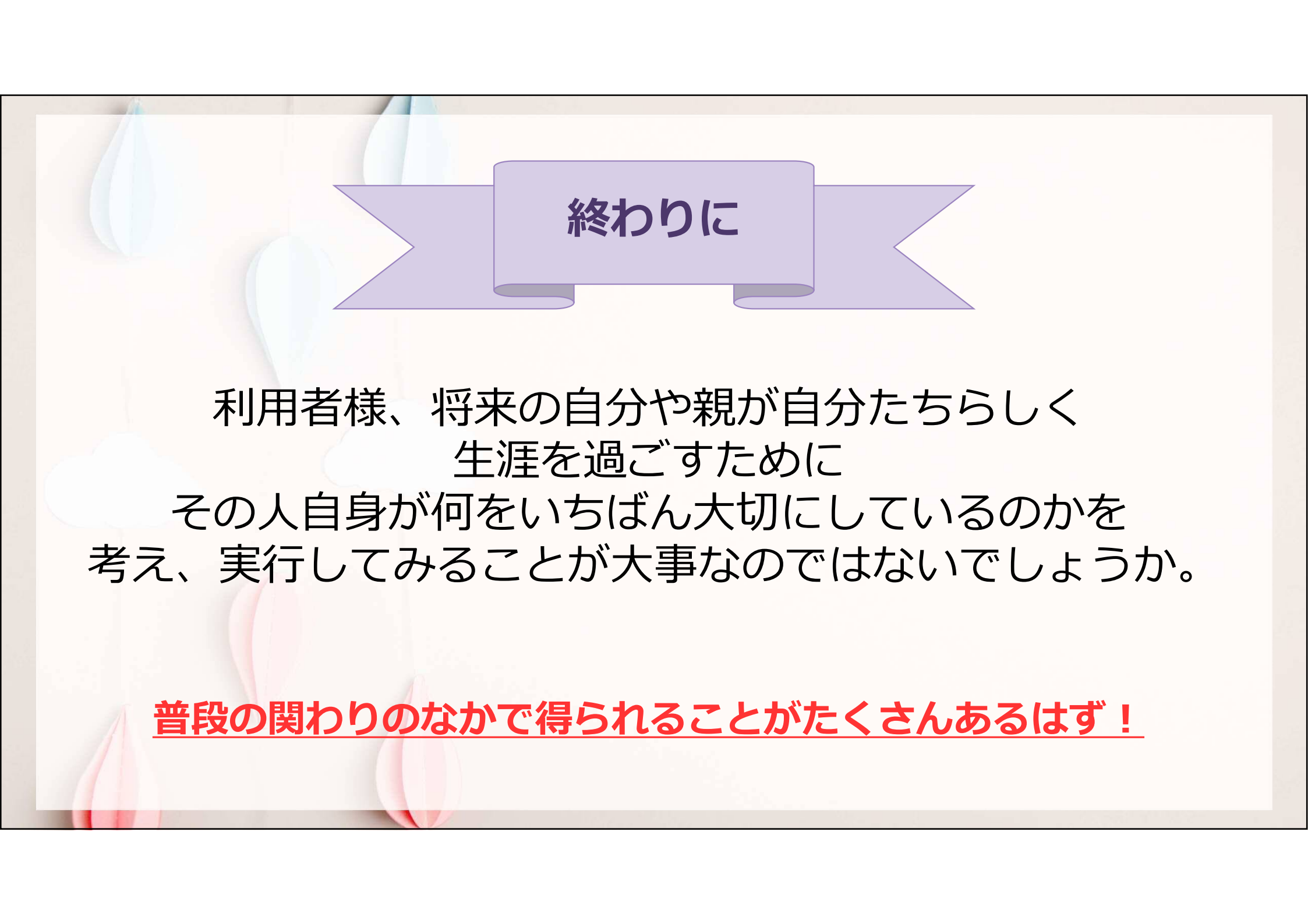


を叶えることを考えていたが...

地域で支える仕組みが必要

自宅で過ごす



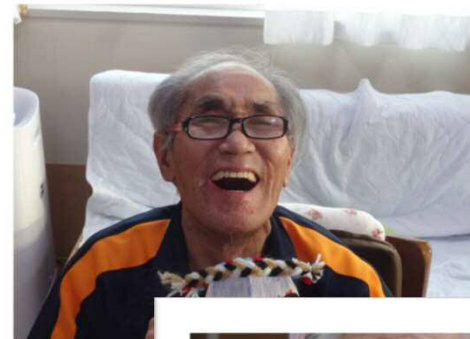


終わりに

利用者様、将来の自分や親が自分たちらしく
生涯を過ごすために

その人自身が何をいちばん大切にしているのかを
考え、実行してみることが大事なのではないでしょうか。

普段の関わりのなかで得られることがたくさんあるはず！



ご静聴
ありがとうございました